



環境方針

P.2



組織図と実施体系

P.3・4



環境活動計画

P.5



それぞれの取組

P.6~10



取組結果

P.11



代表者見直し

P.12



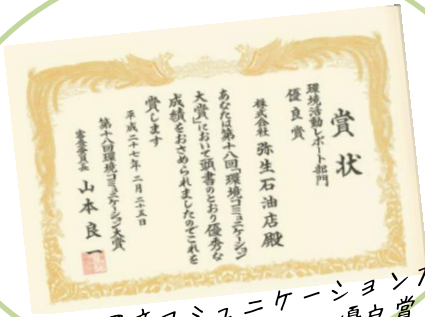
次年度以降目標

P.12・13



違反訴訟の有無

P.14



第18回環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優良賞!!



第19回環境コミュニケーション大賞
環境活動レポート部門 優秀賞 \(@o@) / !!

エコアクション21

環境活動レポート2017

2016年12月
～
2017年11月

作成日
2019年
2月7日

株式会社弥生石油店



基本理念

株式会社弥生石油店は、
「環境に配慮しない自己中心的な企業活動に繁栄はない」
との認識に立ち、石油製品販売を中心とした企業活動を行う
に於いて地球環境保全に努め、持続可能な発展を目指します。

環境方針

1. 次の事項についての環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 二酸化炭素排出量の削減（地球温暖化防止）

⇒ 電力・自動車燃料の使用の削減

② 廃棄物の削減及び再資源化の推進（継続的環境改善）

⇒ 紙の使用量の削減・産業廃棄物の削減

③ 排水量の削減（水資源の保全）

⇒ 一般水道水の削減

④ 社会貢献

⇒ 環境に配慮した商品の販売促進

2. 化学物質取扱量の把握

3. グリーン購入の推進

4. 環境関連法規や当社がお約束したことを遵守します。

5. 環境への取組みを環境活動レポートとして、とりまとめ公表します。

6. 環境意識を高めるため、教育の充実にも力を入れます。

制定日

2008年12月 5日

最終改定日

2011年 2月 7日

株式会社 弥生石油店
代表取締役社長 中川 貴之

組織の概要

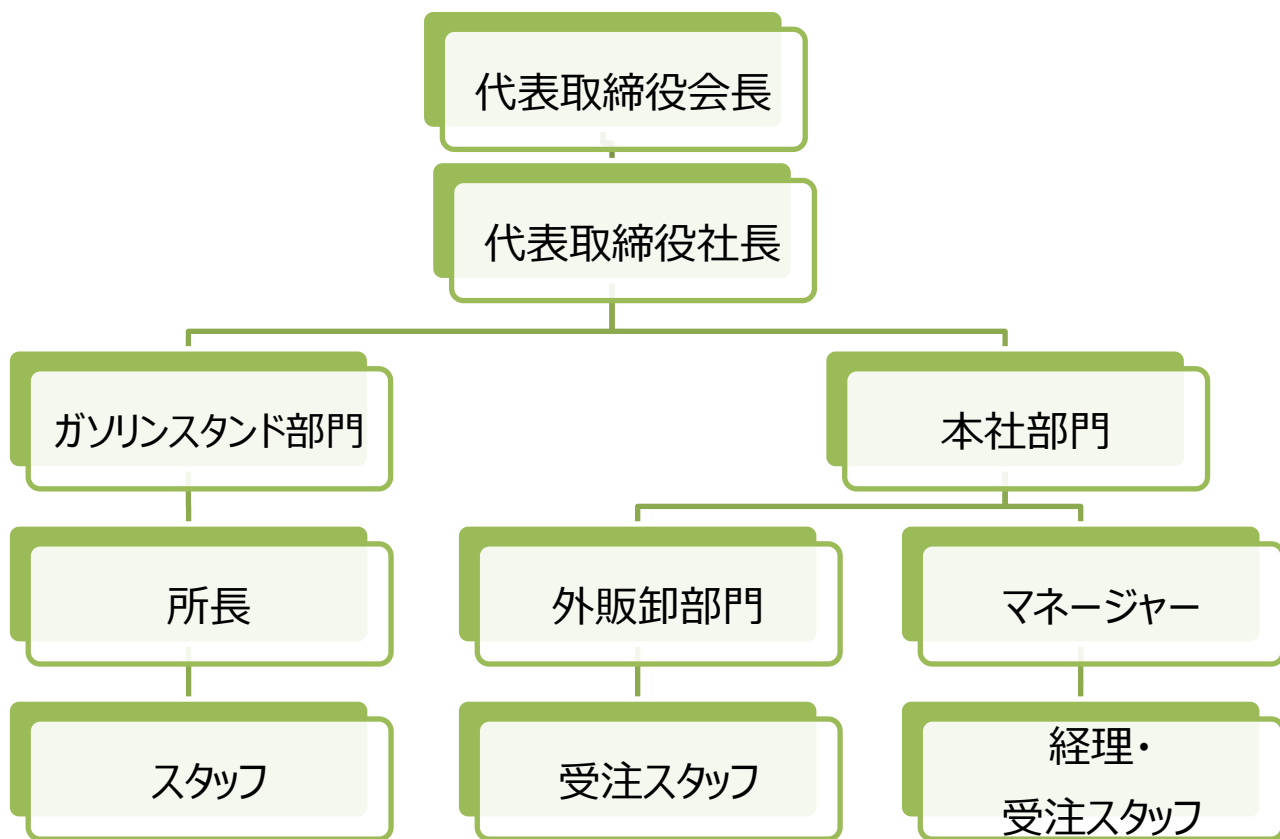
事業者名	株式会社弥生石油店	
代表者名	代表取締役社長 中川貴之	
所在地	本社	大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビル内
	弥生ひらかたSS	枚方市西禁野 2-4-10
環境管理責任者	川原奈美子	
連絡先	TEL 06-6364-3456 FAX 06-6364-7467	
事業内容	石油製品卸売業・小売業、毒物劇物一般販売業、バッテリーの卸売業 古物商、自賠償保険、ガソリンカードの発券	
事業規模	資本金	1000万円
	売上高	2014年 10.23億円 2015年 8.61億円 2016年 7.26億円 2017年 8.47億円
従業員数	12名	
	床面積	本社 61.84㎡ ひらかたSS 454.52㎡

沿革：		主な出来事 あの時こんなことがありました*が
1934年4月5日	(株)弥生石油店を資本金10万円で設立。 三菱石油(株)(現JX日鉱日石エネルギー(株))の 特約店となり主として大阪府下一円に同社の 全製品の販売並びに付帯業務一式行う	* 石油業法公布 (業者の貯油が義務付け) * 法隆寺昭和の大修理着手
1949年5月	枚方に第1号直営給油所を完成、営業を開始	* GHQ 1ドル360円の単一為替ルートの設定 * 自動車の生産販売制限全面解除に関する覚書を発表
1998年9月	出光興産(株)の特約店になる	* 第18回冬季オリンピック長野大会開催 * 洋画ランキング1位『タイタニック』
2003年10月	毒物劇物一般販売業 (大阪府に登録)	* 郵政事業庁が日本郵政公社に * 「世界に一つだけの花」(SMAP) 大ヒット
2009年8月	古物商資格取得 中古車販売開始	* 『ハドソン川の奇跡』 ニューヨークのハドソン川にUSエアバス 旅客機が不時着乗客・乗員計155人全員救出
2009年9月	環境規格『エコアクション21』 本社部門 認証・登録	* マイケル・ジャクソン死去
2010年9月	『エコアクション21』の登録範囲をSS含め 全社へ拡大	* 小惑星探査機『はやぶさ』が地球に帰還 * 「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」がベストセラーに
2011年3月	経営革新計画承認企業となる	* 東日本大震災発生 * 小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録
2013年4月5日	80周年を迎える	* 富士山が世界文化遺産に登録 * 「安さ」「味の良さ」「利便性」を主な 要因とし『コンビニコーヒー』が大ヒット
2015年2月	『第18回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優良賞受賞	* 10月5日・6日と2日連続の栄誉！ ノーベル生理学・医学賞 ノーベル物理学賞！
2016年2月	『第19回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優秀賞受賞!!	* マイナンバー制度開始 * 英国の歌手 デビッド・ボウイ死去 * 115年ぶりに鹿児島・奄美大島で降雪を観測！ * SMAP解散
2017年2月	『第20回 環境コミュニケーション大賞』 環境レポート部門 優良賞受賞	* アメリカの大統領にドナルド・トランプ氏が就任
2018年11月		* 2025年万博、大阪・関西での開催が決定

組織図と実施体系



組織図と実施体系



環境管理責任者・担当者		役割・責任・権限
代表取締役会長 川原静恵		<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の策定 ・E A 2 1の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意 ・環境管理責任者の見直し ・E A 2 1の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う
代表取締役社長 中川貴之		
本社	ひらかたSS	役割・責任・権限
代表取締役社長 中川貴之		<ul style="list-style-type: none"> ・E A 2 1の実行に必要な資源（人・設備・費用）を用意 ・環境方針を全員へ周知 ・環境法規の見直し
環境管理責任者 川原奈美子	所長 梶原達也	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築・維持 ・環境経営システムを構築・運用状態を社長に報告 ・環境活動レポートを取りまとめる ・環境管理ミーティングを開催する ・環境法規の取りまとめ
	担当者 木原弘幸	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷に対する必要なデータを集計し、全従業員に啓蒙する（電気メータ・ガソリン・紙使用量・廃棄物の集計）
	担当者 木原弘幸	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ商品等の販売量の管理 ・昼間の必要な照明等の停止・業務終了時の主電源OFFの管理 ・エアコンのフィルターの定期的な清掃 ・冷蔵庫内の冷凍庫の霜とり
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動への参加



環境活レポート作成中は 必ず空気を読んで話しかけてください。

奇声や雄叫び・現実逃避の原因になりますのでご注意ください。 注意：おやつを与えないでください。

本レポートの読み方は拾い読み（興味のある部分や必要なところだけを読む）盗読み（他人の読んでいるのを側からこっそり読む）走読み（速くざっと読む）辿読み（1字1字たどるようにしてやっと読む）等、好きな読み方をお選びいただけます。



重要★★★

今年度のレポートを読む前に必ずこれまでの環境活動の内容を確認してください。

環境目標項目		単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	21,873	20,155	20,330	19,624	17,189
1.1 購入電力	合計①+②	kWh	25,537	23,856	24,690	22,250	19,645
	① 本社	kWh	4,703	4,415	4,615	5,002	5,076
	① SS	kWh	20,834	19,441	20,075	17,248	14,569
1-2 ガソリン	合計①+②	L	5,383	4,921	4,865	4,944	4,307
	① 本社	L	5,282	4,784	4,749	4,830	4,182
	① SS	L	101	137	116	114	125
2. 廃棄物の削減		kg	157	189	212	198	195
2-1. 本社		kg	109	127	158	148	143
2-2 SS		kg	49	62	54	50	52
3. 水使用量の削減（SSが対象）		m ³	716	571	489	463	519
4. 環境配慮型商品の販売	合計①+②	L	6,766	31,583	27,960	35,856	31,579
	① 本社	L	5,418	30,526	27,000	35,000	30,618
	① SS	L	1,348	1,057	960	856	961

備考1) 二酸化炭素排出係数は、0.366kg-CO₂/kWh（関西電力）を使用している。

備考2) 灯油、軽油は使用していない。

備考3) 産業廃棄物は、環境目標を設けず、データの集計のみとする。



CO₂排出量の削減

二酸化炭素排出量は2010年度に21,406kg-CO₂でしたが、2016年度には17,189kg-CO₂で 19.7%も削減できています。

電力使用量の削減

電力において、上記と同様な比較で32%も削減できています。室温計、エアコン稼働表の設置、クールビズ運動、電灯のLED化などを進めてきました。

ガソリン使用量の削減

ガソリンは、2012年度対比で、20%も削減できました。

廃棄物の削減

廃棄物排出量は、お客様からのゴミはコントロールはできず、2016年度から廃棄物削減努力から外すことになりました。

水使用量の削減

水使用量は、2009年度の1,355m³が2016年度には62%の削減ができました。本社はテナントビル一室を借用のため水使用量については把握出来ないためSSのみを対象としています。

環境配慮型商品の販売

環境配慮型商品の販売は、2009年度の1,780Lから、2016年度の31,579Lまで18倍になっています。

グリーン購入

グリーン購入は、事務用品を中心に推進しています。



電力・電灯使用量の削減



環境目標

(本 社) ルーター等の電力使用量が増えた2014年度と2015年度の平均値を基準に算出する。

取組内容

(ひらかたSS)電気契約を一つ減らし、LEDを設置した2015年度実績対比3%削減とする。



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	× 93%	× 94%
冷暖房の温度設定 (エアコン使用時に室温) 6~9月28℃程度 12~3月20℃程度	×	△
パソコン・OA機器を省エネモードに設定	○	○
エアコン内のフィルター清掃	○	○
冷蔵庫の霜取り	○	○
不必要な照明・電気機器等は停止 (毎昼休憩時)	△	△
業務終了後の主電源は必ず切る (FAX以外)	○	○
クールビズ・ウォームビズ運動の推進	○	○
LED照明の導入	○	○
PC・プリンター等、買い替え時は省電力等の環境配慮モデルを検討	○	○

それぞれの取組



本社の電力使用料が増加傾向のためエアコンの点検をお願いしました。エアコンのガスやフィルター等が原因ではなく、エアコンの風向きが原因でした。風向きを変えてしまうと 直接風が当たる席があるので都度風向きを変えてみて様子を見ることにします。

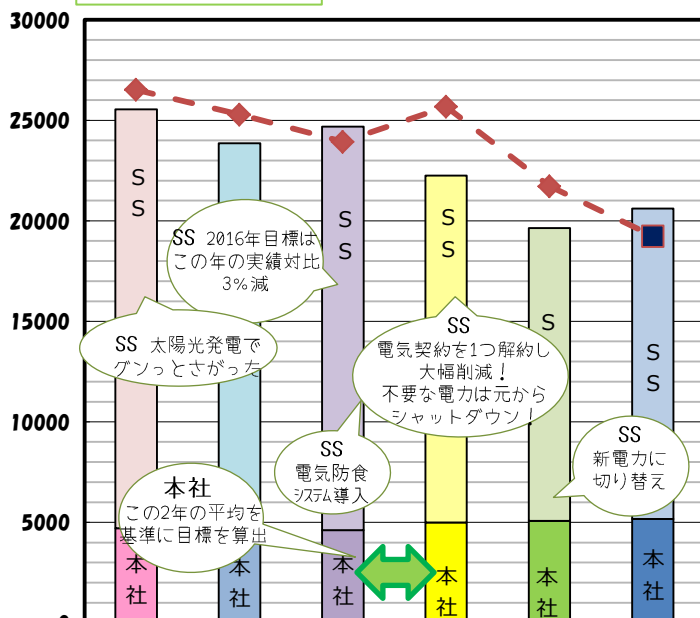


本社 NEW FAX!
省電力やーん



電力 年度別

電力削減...



電気 (kWh)	12年	13年	14年	15年	16年	17年
目標	26,516	25,282	23,930	25,679	21,717	19,235
SS実績	20,834	19,441	20,075	17,248	14,569	15,431
本社実績	4,703	4,415	4,615	5,002	5,076	5,174
合計実績	25,537	23,856	24,690	22,250	19,645	20,605
目標達成率	104%	106%	97%	115%	111%	93%

ガソリン使用量の削減

環境目標

(本 社) 社用車が増えた過去2カ年の平均を基準に算出する

(ひらかたSS)中古車販売事業の開始後の過去2カ年の平均を基準に算出する。

取組内容

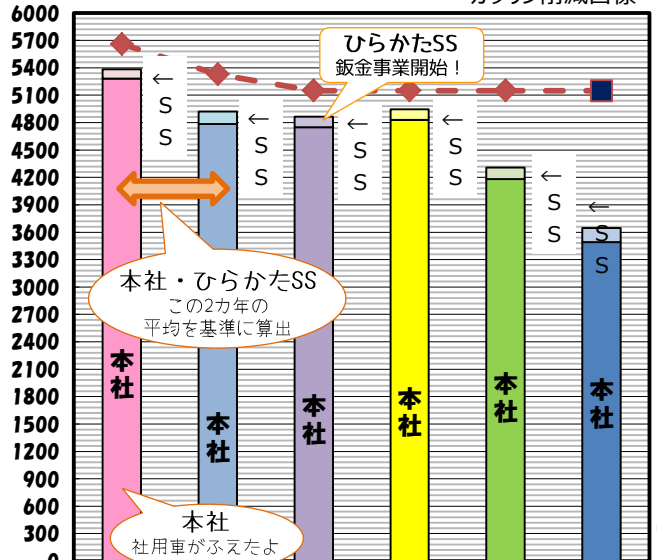
【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	○ 144%	× 76%
ハイブリッド車などの購入、置き換え	○	—
アイドリングストップ	○	○
急発進・急停車の禁止	○	○
車内の冷暖房の控え目使用	○	○
公共交通機関利用の促進	○	×

いいね!



ガソリン 年度別

ガソリン削減目標



ガソリン (L)	12年	13年	14年	15年	16年	17年
目標	5,660	5,329	5,149	5,149	5,149	5,149
SS実績	101	137	116	114	125	154
本社実績	5,282	4,784	4,749	4,830	4,182	3,491
合計実績	5,383	4,921	4,865	4,944	4,307	3,645
目標達成率	105%	108%	106%	104%	120%	141%

取組評価

本社社用車のエンジンが故障したので、この機会にハイブリッド車にSS軽トラが車検時にマフラーの破損や老朽化が目立ったため、乗り換えることになりました。そのおかげで、ガソリン使用料がグンと減少しました。



それぞれの取組

温室効果ガス（二酸化炭素）の削減

環境目標

(本 社) (ひらかたSS) 電気、ガソリンを加えたものとする。

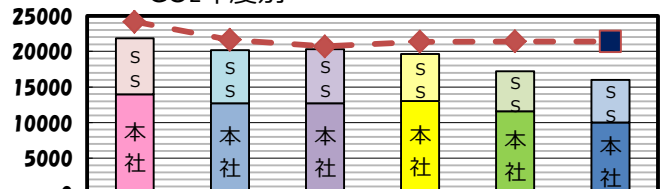
取組評価

温室効果ガスの削減については、本社・SSのガソリン削減によるものです。



CO2年度別

温室効果ガス削減目標



CO ₂ (kg-CO ₂)	12年	13年	14年	15年	16年	17年
目標	24,162	21,625	20,719	21,354	21,400	21,400
SS実績	7,861	7,433	7,616	6,579	5,622	6,006
本社実績	13,983	12,722	12,714	13,045	11,566	9,999
合計実績	21,873	20,155	20,330	19,623	17,189	16,005
目標達成率	110%	107%	102%	109%	124%	134%

廃棄物の削減



環境目標

(本 社) 過去5カ年平均を基準に算出する。

(ひらかたSS) 一般廃棄物：紙 過去4カ年平均を基準に算出する。

(一般廃棄物：紙以外 (お客様のゴミ) と産業廃棄物についてはデータ収集のみ行う)

取組内容



それぞれの取組

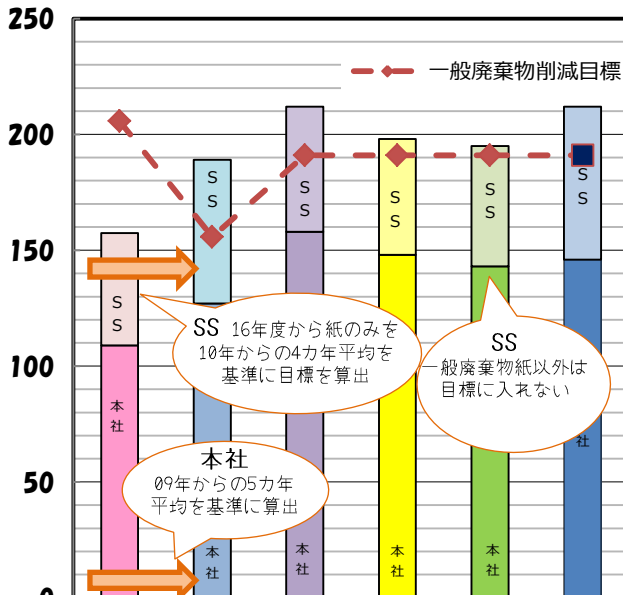
本社では本年度、潤滑油の講習会を2回行いました。講習会用の告知チラシ・講習会資料等の作成により紙の使用量が増加しました。また、本社が借用しているテナントビルではゴミの分別が細かくなり、紙リサイクル専用のゴミ箱を設置することにしました。

SSではお客様のゴミをデータ収集のみとしたためSSでのゴミが大幅に削減されました。



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	× 83%	○ 140%
ミスコピー防止	○	○
裏紙再利用の徹底	○	○
社内書類の電子化	△	○
社内 (本社-SS間) サイボウズ利用	○	○
ガソリンカードの顧客への価格の設定方法を簡略化し案内状の郵送を極力控える	○	○
不要になった書類・封筒は紙リサイクル	○	○
マイカップ・マイ箸運動の推進	○	○
ハンドソープ等の詰め替え用品の購入	○	○
社内での勉強会等にはプロジェクターを使用し無駄な印刷物を減らすよう努める	○	○
廃油の分別回収に努める	-	○
産業廃棄物の分別回収に努める→オイルエレメントは分別・ガス缶は穴を開けて廃棄	-	○
お客さまからのゴミは分別回収に努める	-	○

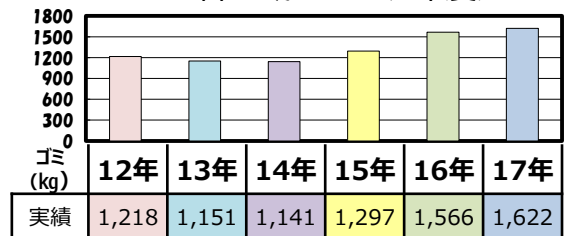
一般廃棄物 年度別



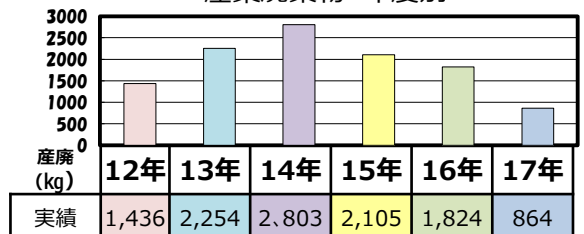
一般廃棄物 (kg)	12年	13年	14年	15年	16年	17年
目標	206	156	191	191	191	191
SS実績	49	62	54	50	52	66
本社実績	109	127	158	148	143	146
合計実績	157	189	212	198	195	212
目標達成率	131%	83%	90%	96%	98%	90%



お客さまからのゴミ 年度別

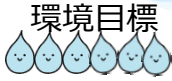


産業廃棄物 年度別

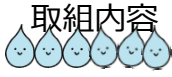


水使用量の削減

※本社はテナントビル一室を借用のため水使用量を把握することが出来ないが、水道使用時は節水を心掛けている。



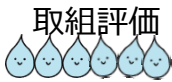
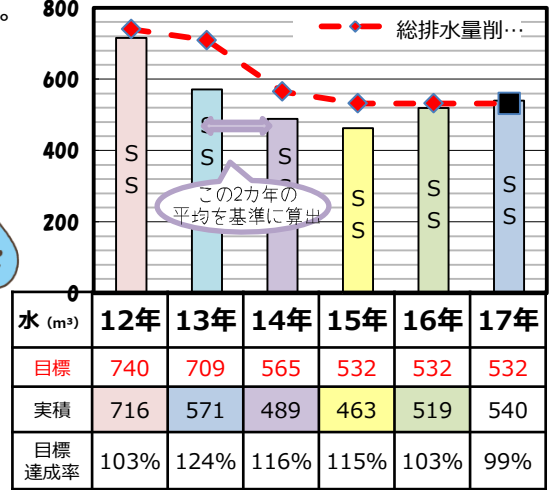
(ひらかたSS) 節水効果が出だした
過去2カ年平均を基準に算出する。



good!

【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もったがんばる×】	本社	SS
目標達成 (達成率) 達成率 = 目標 ÷ 実績	—	× 99%
節水に努める	○	△
節水ポスターの掲示	○	○
洗濯機の効率運転による節水	—	○
社内清掃時は水使用を最小限に抑える	—	○
家庭においても節水を心掛ける	○	○

水使用量年度別



目標を達成することができませんでした。
洗濯作業以外では水の使用量は必要最低限とし節水を心掛けました。



環境配慮型商品の販売

環境目標



(本社) 2015年度(前年)実績対比1%増販とする

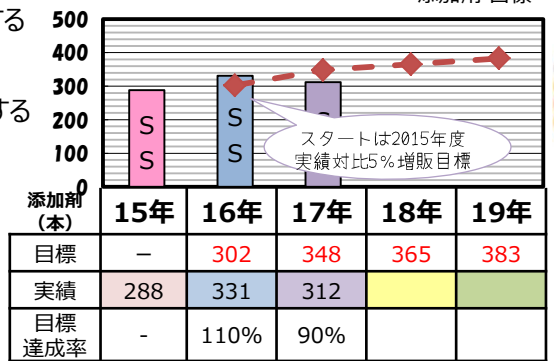
(ひらかたSS) 環境配慮型オイル
2015年度(前年)実績対比1%増販とする
環境配慮型添加剤
2015年度実績(288本)対比5%増販
(302本)とする

取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もったがんばる×】	本社	SS オイル	SS 添加剤
目標達成 (達成率) 達成率 = 実績 ÷ 目標	386%	96%	90%
更油時の油種変更の提案	○	○	—
オイル交換時の油種変更の提案	○	△	—
点検時の環境配慮型添加剤の提案	—	—	△
エコドライブに関するチラシの作成・掲示	—	—	○
省エネポスターをスタンドに掲示	—	—	○
環境配慮型商品の案内・提案の実施	—	—	○

添加剤 目標

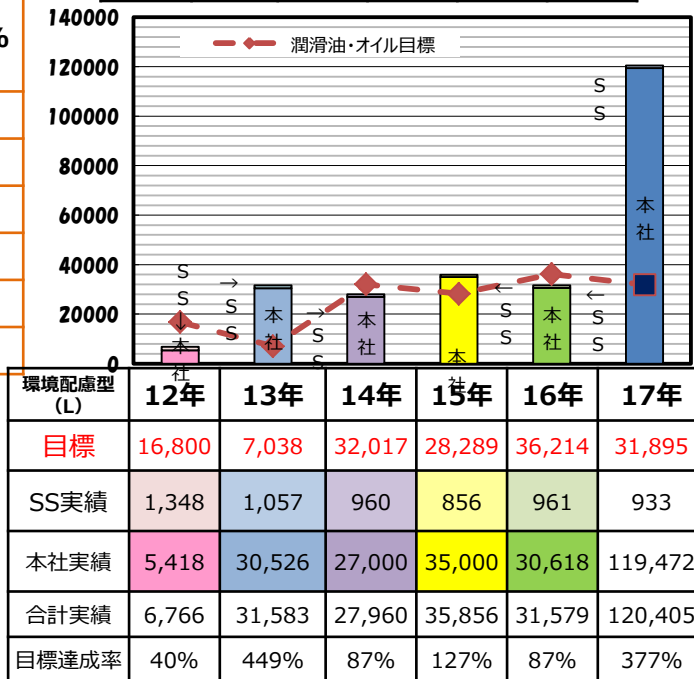


取組評価



本 社 環境配慮型商品の販売量が前年より3倍強増えた

ひらかたSS 環境配慮型オイルと環境配慮型添加剤が目標を達成することができませんでした。



それぞれの取組





取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
グリーン購入・グリーン調達の推進	○	○
エコマーク商品の積極的な購入	○	○
マット・埃取りはダスキンのリサイクル品を使用	○	○
購入品はなるべくリサイクルしやすいものを選ぶ	○	○

取組評価



対象商品であるリサイクルペーパーやリサイクルトナー等を積極的に購入し購入量の把握に努めた。



そ
れ
ぞ
れ
の
取
組



化学物質取扱量の把握（全体）



取組内容



【良く出来ていた○ ぼちぼち出来ていた△ もっとがんばる×】	本社	SS
化学物質取扱量の把握	○	○
トルエン等は伝票処理を行い帳簿上で管理	○	-
SSでのガソリン等は漏えい防止等取扱上の管理	-	○

取組評価



管理に注意を払い、把握することができた。



Environmental Activities 2017

環境目標項目		単位	1年間の実績	1年間の目標	達成度 (目標/実績)	評価	
1. 二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	16,005	21,400	133.7%	○	
1.1購入電力	合計：①+②	kWh	20,605	19,235	93.4%	×	
	① 本社	kWh	5,174	4,811	93.0%	×	
	② SS	kWh	15,431	14,424	93.5%	×	
1-2ガソリン	合計：①+②	L	3,645	5,149	141.3%	○	
	① 本社	L	3,491	5,032	144.1%	○	
	② SS	L	154	117	76.0%	×	
2.廃棄物の削減		kg	212	191	90.1%	×	
	① 本社	kg	146	118	80.8%	×	
	② SS	kg	66	73	110.6%	○	
3. 水使用量の削減 (SSが対象)		② SSのみ (本社はなし、ビル)	m ³	540	532	98.5%	×
4. 環境配慮型商品の販売 (この項は、達成度=実績/目標)	1) 潤滑油	L	120,405	31,895	377%	○	
	① 本社		119,472	30,924	386%	○	
	② SS		933	971	96.1%	×	
	1) 添加材	本	312	347	89.9%	×	
	① 本社		なし	なし	—	—	
	② SS		312	347	89.9%	×	

備考1) 評価は、達成:○、不達成:×

CO₂排出量の削減

二酸化炭素排出量は、大幅に達成しました。電力が、エアコンの使用増等で不達成ですがガソリンが公共交通機関の使用等での大幅削減に貢献しました。

廃棄物の削減

廃棄物は、不達成でした。お客様のゴミはデータ収集のみに変更してひらかたSSでは減少しました。

水使用量の削減

水使用量は、昨年高圧洗浄機を新替して、さらに節水洗車を心がけましたが、不達成でした。

環境配慮型商品の販売

環境配慮型商品では、潤滑油の変更の提案が浸透してきたのか、大幅に達成できました。



Point! 代表者見直し

環境方針	特に変更なし		
	環境目標の評価	二酸化炭素排出量	達成率が134%
		水使用量	達成率が99%
		廃棄物	達成率が90%
		環境配慮型商品	オイル 達成率が377% 添加剤 達成率が89.9%
環境目標の今後の方向性	【全体の項目】	2013年度より各項目の削減限界が見えてきたため過去のデータ推移を踏まえ、ある期間の平均値を目標設定にすることとしており次年度も一部の活動以外これを継承する。	
	【環境配慮型商品】	ひらかたSSオイルの販売目標について、前年対比1%増販を本年度目標に設定しましたが、達成できませんでした。次年度も前年対比1%増販を設定し、環境配慮型添加剤についても、5%増販目標を達成することが出来ませんでした。次年度も前年対比5%増販を設定する。本社では、環境配慮型商品の販売が目標の3倍強増販しました。	
	【電力】	本社は307号室のエアコンの不調を解消できましたが電力使用量が増加しています。ひらかたssも電力使用量が増加していますが、設定の目標値に届きそうなのでこのまま本社・ひらかたssの目標の変更はしない。	
	【ガソリン】	ガソリンについては、前年同様で目標の変更はしない。	
	【水使用量】	水使用量については、前年同様で目標の変更はしない。	
今後の目標	◇電力	本社	2018年度以降も過去2か年平均の数値を維持する。
		SS	2018年度以降も2016年度実績対比1%削減とする。
	◇ガソリン	本社	2018年度以降も社用車が増えた過去2年平均を目標とする。
		SS	2018年度以降も中古車事業を開始した過去2年平均を目標とする。
	◇廃棄物	本社	2018年度以降も過去5年平均を目標とする。
		SS	昨年に引き続き、お客さまからのゴミ・産業廃棄物についてはデータ収集のみとし、紙のみを過去4年平均を目標とする。
	◇水使用量	SS	2018年度以降も節水対策効果がでた過去2年平均を目標とする。
	◇環境配慮型商品	本社	2018年度以降も前年対比1%増販を目標とする。
		SSオイル	2018年度以降も前年対比1%増販を目標とする。
SS添加剤		2018年度以降も前年対比5%を目標とする。	

次年度以降の環境活動計画		単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	21,400				
	電力	kWh	19,235				
	ガソリン	L	5,149				
廃棄物排出量の削減		kg	191				
水使用量の削減		m ³	532				
環境配慮型商品の販売	潤滑油 (毎年1%増加)	L	32,214	32,536	32,861	33,190	32,512
	添加剤 (毎年5%増加)	本	365	383	402	422	443

次年度以降の環境活動計画



電気	冷暖房の温度設定(エアコン使用時に室温)6～9月28℃程度 12～3月20℃程度	本社・SS
	パソコン・OA機器を省エネモードに設定	本社・SS
	エアコン内のフィルター清掃	本社・SS
	冷蔵庫の霜取り	本社・SS
	不必要な照明・電気機器等は停止(毎昼休憩時)	本社・SS
	業務終了後の主電源は必ず切る(FAX以外)	本社・SS
	クールビズ・ウォームビズ運動の推進	本社・SS
	LED照明の導入	本社・SS
	PC・プリンター等、買い替え時は省電力等の環境配慮モデルを検討	本社・SS

ガソリン	ハイブリッド車などの購入、置き換え	本社
	アイドリングストップ・急発進・急停車の禁止	本社・SS
	車内の冷暖房の控え目使用	本社・SS
	公共交通機関利用の促進	本社・SS

廃棄物	ミスコピー防止	本社・SS
	裏紙再利用の徹底	本社・SS
	社内書類の電子化	本社・SS
	社内(本社-SS間)サイボウズ利用	本社・SS
	顧客への価格の設定方法を簡略化し案内状の郵送を極力控える	本社・SS
	不要になった書類・封筒は出来る限り紙リサイクル	本社・SS
	マイカップ・マイ箸運動の推進	本社・SS
	ハンドソープ等の詰め替え用品の購入	本社・SS
	社内での勉強会等にはプロジェクターを使用し無駄な印刷物を減らすよう努める	本社・SS
	廃油の分別回収に努める	SS
	産業廃棄物の分別回収に努める→オイルエレメントは分別・ガス缶は穴を開けて廃棄	SS
お客さまからのゴミは分別回収に努める	SS	

水	節水に努める(オフィス・セールスルーム内に文面を掲示)	SS
	ビル内共同の洗面及びトイレの節水を心掛ける	本社

環境配慮型商品	環境配慮型商品の販売	更油時の油種変更の提案	本社
		オイル交換時の油種変更の提案	SS
		点検時の環境配慮型添加剤の提案	SS
	環境情報の提供	エコドライブに関するチラシの作成・掲示	SS
		省エネポスターをスタンドに掲示	SS
		環境配慮型商品の案内・提案の実施	本社・SS

グリーン購入	グリーン購入の推進	本社・SS
	エコマーク商品の積極的な購入(リサイクルペーパー・詰め替え用文房具・リサイクルトナー等)	本社・SS
	マット・埃取りはダスキンのリサイクル品を使用	本社・SS
	購入品はなるべくリサイクルしやすいものを選ぶ	本社・SS
	グリーン調達の推進	本社・SS

化学物質	化学物質取扱量の把握	本社・SS
	トルエン等は伝票処理を行い帳簿上で管理	本社
	SSでのガソリン等は漏えい防止等取扱上の管理	SS



環境関連法規等について訴訟等はなく、周辺地域及び関係機関からの指摘、苦情もなかった。

当社の事業活動に当たって遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を受ける事項は以下の通りである。

環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況のチェック表

適用となる主な環境関連法規等	遵守すべき事項	最新版確認	遵守評価
毒物及び劇物取締法	毒劇物の販売に際し、適切な登録と取扱	○	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正な処理	○	○
家電リサイクル法	ユニット型エアコン・ブラウン管式テレビ・電気冷蔵庫・洗濯機の適切な廃棄処理	○	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正な廃棄・引き渡し	○	○
消防法	地下タンク漏洩検査、揮発油分析品質管理、火災の予防	○	○
土壌汚染対策法	地下タンク漏洩検査	○	○
水質汚濁防止法	地下タンク及び油水分離槽の適正管理、事故時の届出	○	○
下水道法	下水道の汚濁の防止、洗車機の特定施設の届出	○	○
大阪府生活環境の保全に関する条例	事業活動全般、設備の届出、適切な管理	○	○
資源有効利用促進法	パソコン等の適正な廃棄処理	○	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの適正な廃棄の処理、簡易点検の実施及び記録の保管	○	○
P R T R 法	指定化学物質の排出量・移動量の届出（該当の場合）	○	○

